

ダットンソバ新品種登録に関する産学官共同記者会見のお知らせ

日 時 平成20年4月3日(木) 15時30分～16時30分
場 所 信州大学農学部 食と緑の科学資料館「ゆりの木」
発表主体 信州大学農学部, タカノ株式会社, 伊那市

この度、機能性作物である韃靼蕎麦(ダットンソバ)新品種、3種類が平成20年2月22日に種苗登録されたことに伴い、産学官共同記者会見を行います。

本品種は、日本初の中生種であり、収量性が高く、獣害が少ない特徴を持ち、中部地方の中山間地の農業振興に役立てるために信州大学とタカノ株式会社による産学連携研究により開発されたものです。

品種名は伊那市の「気の里」にちなんで、気のカ(キノチカラ)(第16138号)、気の宝(キノタカラ)(第16139号)、気の豊(キノユタカ)(第16140号)と名付けられました。

今後、伊那市の協力を得て、産学官連携による生産利用協議会を立ち上げ、中山間地における『雑穀』の生産、加工、利用の振興を図る予定です。

なお、当日は、会見後にダットンソバ粉を用いたソバの試食をしていただく予定です。

開発担当者

信州大学農学部食料生産科学科 教授 井上 直人

タカノ株式会社取締役(企画室長) 臼井 俊行, 北林 広巳